

令和4年5月1日 発行

こうじえん

## 普及センターだより

# 耕耳苑

宮古農業改良普及センター  
岩泉普及サブセンター

TEL：0193-64-2220  
TEL：0194-22-3115

FAX：0193-64-5631  
FAX：0194-22-2806

第177号

### 新年度のごあいさつ

宮古農業改良普及センター 所長 加藤 満康

牧開の山奥に牛の鳴き声がこだまします。皆様には、何よりも事故がなく穏やかな日々を過ごされるようお祈りしています。

さて社会は、長引くコロナ禍や海外の戦火が資源価格や輸送費の値上げをもたらし、生活も経営も負担が増えています。私達も力を合わせて、刻々と変わる事態を乗り越えていかなければと、新年度にあたり気を引き締めています。

また今年度は、県政150周年の節目を迎え、沿岸も復興とともに新たな時代へと移っていきます。当センターも地域農業が未来へつながるよう、「普及指導計画」に即して着実に活動を展開します。そのなか各分野で、県の推進費も活用した研修会や見学会を例年より多く予定しており、皆様の参加をお待ちしています。

この4月には、宮古と岩泉の職場に計6名が転入しましたので、地域の様子などを教えていただければと存じます。どうぞ本年度も職員一同よろしく申し上げます。

### 着任のごあいさつ

宮古農業改良普及センター岩泉普及サブセンター 技術主幹兼所長 伊藤 修

前任地の盛岡農業改良普及センターから4月1日に着任しました。宮古地域では、農林振興センターに平成16年から3年間、農業改良普及センターに平成27年から3年間、勤務しお世話になりました。今回の赴任で3度目となり、こちらとの縁の深さを強く感じ、微力ですが宮古地域農業の発展に少しでも役立てるよう取組んでいく決意しております。

長引くコロナ禍の影響による国内経済活動の停滞、東欧での戦火による食料や資源不足への懸念、また農業施策の柱とも言える「水田活用の直接支払交付金」の要件の厳格化など農業を取り巻く情勢は厳しいものがありますが、宮古地域での東日本大震災津波や台風10号豪雨災害からの復旧・復興が一步一步確実に進む姿を目にし、農家をはじめ関係機関・団体と手を携えてこの難局を乗り越えてなければと心に刻んでいるところです。

「地域・人に頼られる普及センター・普及員」をモットーに、魅力ある地域づくりと農業振興に皆様とともに歩いていくことをお誓いし挨拶といたします。職員一同よろしく申し上げます。



# 令和4年度転入者の紹介

氏名 いとう おさむ  
伊藤 修

役職 技術主幹兼所長（岩泉）

前所属 盛岡農業改良普及センター 技術主幹

出身地 八幡平市

趣味 TVer鑑賞

抱負 宮古地域での勤務は3回目となります。関係機関・団体の皆様と連携し、宮古地域農業の発展に少しでも役立てるよう努めて参ります。



氏名 こん えつろう  
昆 悦朗

役職 産地育成課長（宮古）

前所属 大船渡農業改良普及センター 上席農業普及員

出身地 下閉伊郡山田町

趣味 ジャムづくり

抱負 またお世話になります。元気な宮古・下閉伊へのお手伝いができるように、知恵をしばりたいと思います。



氏名 おばら よしかず  
小原 善一

役職 上席農業普及員（宮古）

前所属 農業普及技術課（岩手県農業研究センター駐在） 上席農業普及員

出身地 花巻市

趣味 ツーリング

抱負 以前に岩泉普及サブセンターに勤務していました。

宮古地域の野菜生産がさらに盛んになるよう、がんばりたいと思います。



氏名 <sup>すずき</sup>鈴木 <sup>げん</sup>元

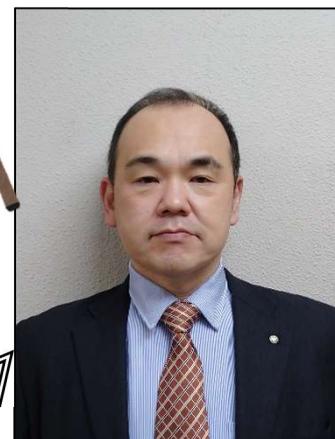
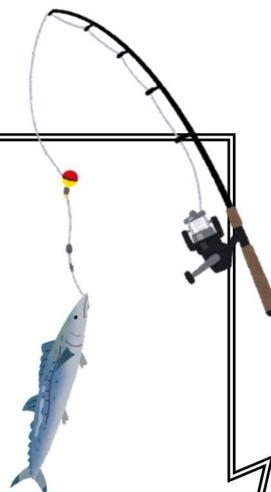
役職 上席農業普及員（宮古）

前所属 岩手県農業研究センター 上席専門研究員

出身地 一関市

趣味 釣り、温泉巡り

抱負 宮古の地には、今回初めて赴任いたしました。海に山に、宮古の素晴らしさを堪能しつつ、宮古の農業経営体の皆様の所得向上につながるよう、精進していきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。



氏名 <sup>さわだ</sup>澤田 <sup>たつる</sup>建

役職 主任農業普及員（宮古）

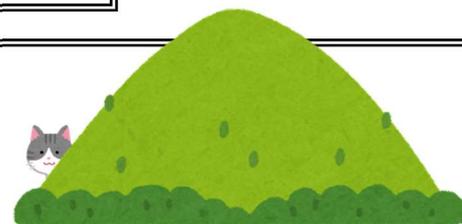
前所属 畜産課 主任

出身地 雫石町

趣味 登山、温泉、猫

抱負 初の沿岸勤務、そして久々の普及センター勤務です。

地域の畜産振興に努めてまいりますので、よろしくお願いいたします。



氏名 <sup>ささき</sup>佐々木 <sup>かすみ</sup>花純

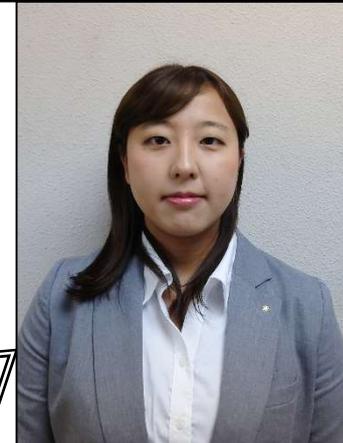
役職 技師（宮古）

前所属 県北広域振興局農政部 技師

出身地 盛岡市

趣味 バスケットボール、旅行

抱負 普及センター勤務が初めてとなりますが、様々なことを早く吸収して、皆さんと一緒に頑張っていければと思います。よろしくお願いいたします。



# 転出者の紹介～お世話になりました～

氏名	転出先
田野島義人（技術主幹）	八幡平農業改良普及センター（所長）
住川 隆行（技術主幹）	八幡平農業改良普及センター（技術主幹兼経営指導課長）
和野 重美（上席農業普及員）	二戸農業改良普及センター（経営指導課長）
高橋 智宏（上席農業普及員）	盛岡農業改良普及センター（上席農業普及員）
久保田真衣（主任農業普及員）	中部農業改良普及センター遠野普及サブセンター（主任農業普及員）
佐々木貴法（農業普及員）	岩手県農業研究センター県北農業研究所（専門研究員）

## 「いわてアグリベンチャーネット」メール配信中

県では、昨年度「いわてアグリベンチャーネット」メーリングリストを開設し、お役立ち情報をメール配信しております。

各地域の現地情報のほか、霜注意報を始めとした気象情報、病虫害防除に関する情報も発信しています。

登録を希望する場合は、別添チラシを参照の上、申込みをお願いします。

【担当：澤田】

## 農作業安全と山火事防止を心がけましょう！

県では、農作業が本格化するこの時期、令和4年4月15日から6月15日を、『春の農作業安全月間』としております。安全に農作業を進めるためにも、「いつものこと」と思わずに、今一度それぞれの農作業に注意を向けましょう。

～ 令和4年度スローガン 「農作業 ゆとりと声かけ 二刀流」 ～

- ・ 農作業前に、作業の内容や場所、終了予定時刻を共有する。
- ・ 農業機械は、定期的に点検を行う（エンジンを切って確認しましょう）。
- ・ 乗用の農業機械について、シートベルトやヘルメットを正しく着用する。



また、令和4年3月1日から5月31日は、『岩手県山火事防止運動月間』となっています。この時期は、野焼きが原因と思われる林野火災も発生していることから、野外での火の取り扱いには、十分注意して、山火事防止に努めましょう。

【担当：千田】

今年も春がやってまいりました。

普及センターも人が変わりましたが、今年度も変わらぬ御愛顧の程、よろしく申し上げます。

さて、いつもどおりの春作業が始まっておりますが、農作業事故には気を付けてください。言うことも言われることもいつもどおりですが、慣れた作業ほど危ないものはありません。私も作業中にヒヤリとしたことがあります。（澤田）